

# 「小学校3校と中学校1校」を 「義務教育学校2校」に再編

～「教育力の向上」と「学校運営  
の効率化」の両立を図って～

地域の  
特色ある  
活動

岐阜県本巣郡北方町教育委員会

## 1 はじめに

北方町は岐阜市に隣接する人口約18,500人のベッドタウンです。平安時代から円鏡寺の門前町、豪商の町として栄えた歴史と文化の町です。また、人口密度は県内の市町村の中で最も高い約3,600人/km<sup>2</sup>です。

## 2 学校の状況

現在、町内全体で約1,600人の児童生徒が小学校3校と中学校1校で学んでいます。カッコ内の数値は、過去数十年間で最も多かった時の児童生徒数です。

北方小学校： 512人（517人）

北方西小学校：179人（595人）

北方南小学校：342人（556人）

北方中学校： 538人（770人）



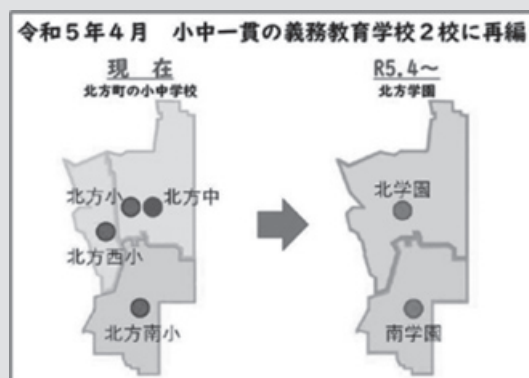
北方南小学校



北方中学校

北方南小学校と北方中学校の校舎は築年数が浅く、北方小学校と北方西小学校の校舎は老朽化が進んでいます。また、校舎建設当時と比べ、児童生徒数は、町全体で約900人減少し、北方小学校以外では、空き教室も目立っています。

## 3 学校の再編



現在の学校体制のままでは、校舎の修繕費や学校運営費がかさむ一方です。また、特に北方西小学校では空き教室が増え学年の単学級化が進んでいます。そこで、平成29年度に学校再編を決め、令和5年度の開校を目指して準備を進めています。学校の再編を検討するにあたり大切にしたいことは、次の2つです。

- ・単に1つの学校を廃校にするのではなく、町全体の教育力がより高まる再編にする。
- ・築年数の浅い校舎を十分に活用して空き教室を削減し、学校運営の効率化を図る。

このような方針のもと、現有の小中学校を同時に廃校にし、築年数の浅い北方中学校と北方南小学校の位置にそれぞれ2つの義務教育学校（仮称「北方町立北学園」「北方町立南学園」）を新設する再編案を立てました。その後、町議会議員、自治会や保護者、教員代表など、様々な立場からなる「検討委員会」を設け、細部の検討を重ねたうえで、基

本計画を作成し、現在は準備委員会を設け、来春の開校を目指し準備を行っています。

#### 4 教育方針

新たな義務教育学校では、小中一貫校のよさを生かし「だれもが安心して学び合える学校」を目指しています。義務教育学校のよさを次のように考えています。

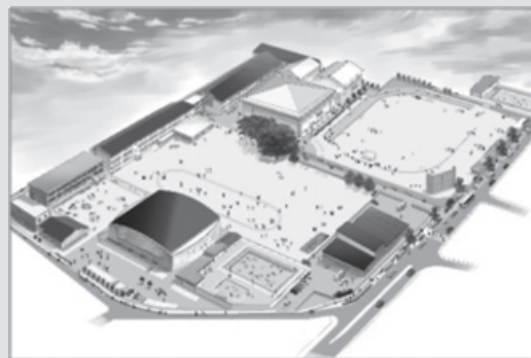
- ・児童生徒は、9年間の見通しが持て、切れ目なく安心して学ぶことができる。
- ・教員は、児童生徒一人ひとりについての理解を深めることができる。
- ・発達段階に応じた教科担任制を推進することができる。
- ・多様な異学年活動ができ、豊かな心を育むことができる。
- ・学校運営協議会やPTAも9年間続けて活動することで、学校との連携をより深めることができる。

また、学校の特色づくりとして、英語教育、ICT教育、ふるさと学習の実施方法を工夫していく計画を立てています。特に、ふるさと学習については、北方町に関わる各教科の教材を特設教科「北方科」としてまとめ、様々な外部講師とともに進めていく予定です。

#### 5 施設の整備

築年数の浅い北方中学校と北方南小学校の施設を活用することを基本とし、加えて次のような施設の整備を行いました。

- ・老朽化した北方小学校校舎を取り壊し、北学園の1～4年生の教室棟を新築する。
- ・小中の教職員が1つの職員室に入るための管理棟の新築や増築をする。
- ・南学園の後期課程用特別教室、多目的室、部室の新築と運動場の拡張をする。
- ・校舎を効率よく活用し余力のできた場所にこども園を設ける。(既設の町立幼稚園と保育園の一部を移設する。)



北学園



南学園

#### 6 課題

この再編の中で、最も課題となったことは、現在ある1つの中学校を2つに分けることです。これに対して「中3で友達と別れることは進学に影響するのではないか。」「部活動のチームが組めなくなるのではないか。」などの意見がありました。これらに対しては、2年間に限り町立の進学塾を設立したり、2つの学園が合同で活動をするクラブを設立したりして、解決を図っていきます。また、後期課程が2つになることで、視野の広がりや期待できたり、教員の町内異動が可能になったりするよさを説明し、不安の解消を図っています。



教育長  
名取 康夫